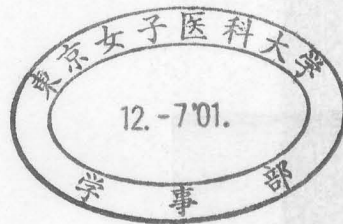


2001 年度

B4 チュートリアル課題

課題番号 8

支離滅裂な言動



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

精神医学教室 岩井一正

シート1

白昼、駅の構内で若い外国人男性が保護された。何か脅えた表情で虚空にむかって怒鳴ったり、そばを通る人に殴りかかったり、線路に飛び降りようとしたという。日本語は片言で、おまけに興奮して話しにならない。警察に保護されたが、部屋の片隅に身をひそめて誰かが近づくと悲鳴をあげる。かと思うと時には身振り手振りをまじえて居丈高に母国語で言いつのることもある。

【抽出を期待する事項】

- ・精神科的現在症と症状記載
- ・精神科的病像（状態像）把握
- ・精神障害の診断分類
- ・精神障害特に精神病における疎通の難しさと自傷他害のおそれ

【今後のために銘記すべき事項】

- ・警察の介入
- ・外国での精神障害

シート 2

身分証から、大手企業の工場に 1 年以上前から所属していることがわかった。問い合わせた所、昨日まではつとめでていたが、今朝暗いうちに寮を出たきり行方がわからないという。かけつけた友人が母国語で話しかけても、「神」とか「罪」などが断片的に聞き取れるだけである。どうやら自分が警察にいることもわかっていない様子である。

日頃はまじめでおだやかな人で、1 ヶ月後の資格試験にむけて夜遅くまで勉強していた。しかし最近故郷の母が入院したという知らせが入り、この二三日は夜も全く眠れなくなったと訴えていたという。

興奮が一向におさまらないため、精神保健鑑定が申請され、措置入院になった。

【抽出を期待する事項】

- ・ ストレスが心身に及ぼす影響
- ・ ストレスと精神病との関係
- ・ 精神鑑定と精神科の入院形式
- ・ 錯乱状態（状態像の特定）

シート 3

検査では脳炎などの脳器質疾患や内科疾患を示唆する所見は得られなかった。また覚醒剤などの薬物を使用していた様子はない。以上のことから、担当医は急性一過性精神病として治療をはじめた。入院当初は病識がなく、食事や薬を拒絶することも多かった。しかし2週間で陽気な軽躁状態になった。入院前の日に眠れなかったことは憶えているが、後はうっすらとしか思い出せない。通勤する人波の中で、信仰を守らねば母も危ういと感じて必死だったという。本人にとってははじめての不思議な体験がいろいろあったが、入院後1週間で消えたという。任意入院にきりかえて更に2週間入院とした。

【抽出を期待する事項】

- ・急性一過性精神病
- ・覚醒剤などの依存物質による精神障害
- ・身体疾患にもとづく精神障害（器質性精神病・症状精神病）
- ・精神科の薬物療法の種類と薬理作用
- ・病識

シート 4

入院 1 カ月で回復したが、職場では、今後本人にどう対処すべきかとまどっている様子であった。担当医は精神障害に対して抱きがちな誤解をとき、ここまで回復したので帰国させずに仕事を続けさせるよう提案し、再発防止のための留意点をつげた。会社では、最近外国人研修生の問題や外地勤務の職員の異文化ストレスの対策の必要を痛感していると訴えた。

【抽出を期待する事項】

- ・急性一過性精神病と精神分裂病の相違
- ・急性精神病エピソードの再発予防
- ・異文化ストレス
- ・外国における精神障害
- ・帰国の是非